

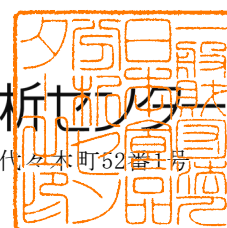
試験報告書

依頼者 YKベントンシェール株式会社

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検体 YKシェールウォーター

表題 殺菌効果試験

2022 年 05 月 18 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

殺菌効果試験

1 依頼者

YKベントンシェール株式会社

2 検体

YKシェールウォーター

3 試験概要

検体を用いて調製したものに試験菌液を接種後(以下「試料」という。), 所定時間後に試料中の生菌数を測定した。また, あらかじめ予備試験(中和条件の確認)を行い, 検体の影響を受けずに生菌数を測定できる条件を確認した。

4 試験結果

結果を表-1, 試験条件を表-2に示した。

なお, 試料をSCDLP培地で希釈する中和条件により, 検体の影響を受けずに生菌数の測定ができることを確認した。

表-1 試料の生菌数測定結果

試験菌	対象	生菌数(/g)			
		開始時	5分後	30分後	60分後
大腸菌 (O157:H7)	検体*	—	200	200	<100
	対照	8.8×10^5	—	—	8.8×10^5

<100 : 検出せず

保存温度 : 室温

対照 : 精製水

* 精製水10 gに対して検体1 gの割合で添加, 混合したもの

表-2 試験条件

試験菌液	試験菌	<i>Escherichia coli</i> ATCC 43888 (大腸菌, 血清型O157:H7, ベロ毒素非産生株)	
		前培養: 普通寒天培地[栄研化学株式会社], 35 °C ± 1 °C, 18~24時間 菌液調製溶液: 精製水 菌数: 10 ⁷ ~10 ⁸ /mL	
試料	精製水10 gに対して検体1 gの割合で混合したもの11 gに試験菌液0.1 mLを接種		
保存条件	5分, 30分, 60分(室温)		
中和条件	SCDLP培地[日本製薬株式会社]で100倍希釈		
対照	精製水11 g		
生菌数測定	SCDLP寒天培地[日本製薬株式会社], 混積平板培養法		35 °C ± 1 °C, 2日間

以 上